

## 気候情報

### 2010年6月の日本の天候

- 北日本では月平均気温がかなり高かった
- 西日本太平洋側では月降水量が多かった
- 沖縄・奄美では月間日照時間がかなり少なかった

#### 6月の天気概況

月の前半は、梅雨前線は日本の南海上に停滞し、本州付近は移動性高気圧に覆われたため、北日本から西日本にかけては晴れの日が多かったが、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。月の後半には梅雨前線は本州付近まで北上し、太平洋高気圧の縁を回る湿った気流の影響もあり西日本を中心に梅雨前線の活動が活発化した。このため、東日本、西日本では曇りや雨の日が多く、西日本太平洋側では月降水量が多くなった。一方、北日本では高気圧と低気圧の影響を交互に受け天気は周期的に変わった。沖縄・奄美では、中旬末から太平洋高気圧に覆われて晴れる日があったが、暖かく湿った気流の影響で曇りや雨の日もあり、月間日照時間がかなり少なくなった。気温は、月のはじめは寒気の影響により全国的に低温となったが、その後は気温が上がり、北日本から西日本にかけて月平均気温が高くなった。特にこの時期としては顕著に暖かい空気に覆われた北日本では、1946年の統計開始以来第2位の高い記録となった。

**上旬：**北日本から西日本にかけては、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、上空の寒気の影響で所々で雨が降った。沖縄・奄美では梅雨前線が沖縄の南海上で不活発だったため、曇りの日は多かったが降水量は少なかった。気温は、旬の中頃まで強い寒気が南下したため全国的に平年を下回ったが、旬の後半は暖かい空気に覆われたため北日本から西日本では平年を上回った。

**中旬：**東・西日本でははじめは高気圧に覆われて晴れる日があったが、その後は本州の南岸に梅雨前線が停滞したため、曇りや雨の日が多く、旬末は太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った気流の影響で九州南部で大雨となった。沖縄・奄美では旬の中頃までは梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、旬末には晴れた所が多かった。一方、北日本では高気圧と低気圧が交互に通過したため天気は周期的に変化した。

**下旬：**梅雨前線は本州付近に停滞し、東北地方から西日本にかけては曇りや雨の日が多く、西日本太平洋側を中心に大雨となった所があった。沖縄・奄美では、

太平洋高気圧の縁を回る湿った気流の影響を受け、曇りや雨の日があった。北海道では旬の前半は低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、旬の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温の高い状態が続いた。特に26日は帯広で猛暑日となり、釧路では年を通じての日最高気温の最高値を更新した。

#### 6月の気候統計

**月平均気温：**北日本でかなり高く、東日本と西日本で高かった。特に北海道では平年を3°C以上上回ったところがあった。沖縄・奄美では平年並だった。

**月降水量：**西日本太平洋側が多かった。一方、沖縄・奄美では少なく、北日本、東日本および西日本日本海側では平年並だった。

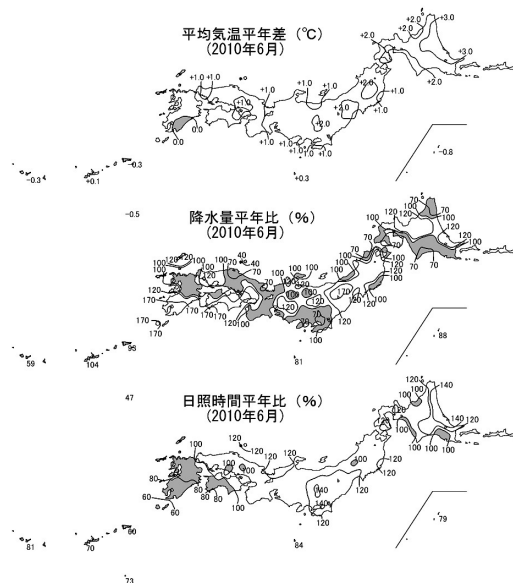
**月間日照時間：**沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、北日本と東日本では多く、西日本では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

#### 6月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(°C)
  - 旭川 19.5 札幌 19.2 倶知安 17.9
  - 盛岡 20.6
- ・月降水量多い方から(mm)
  - 都城 939.5 種子島 1021.5

#### 2010年6月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。